

第 1 回小郡市幼児施設審議会 会議要約

日時	平成 27 年 8 月 26 日（水）13：30～16：00
場所	小郡市役所仮庁舎南棟 2 階 202 会議室
出席者	<p><委員></p> <p>会長：永水委員、副会長：大隅委員</p> <p>委員：安部委員、石川委員、田箆委員、廣瀬委員、大石委員、井手委員、久保山委員、児島委員、安本委員</p> <p><事務局職員> 鮫島保健福祉部長、伊東子育て支援課長、野田子育て支援係長、成富子育て支援係員</p> <p><関係課等職員> 佐藤教育部長、山下教務課長、白石教務係長、大塚教務係員</p> <p><傍聴者> 2 名</p>
資料	<p>○第 1 回 小郡市幼児施設審議会会議次第</p> <p>○資料 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校区別未就学児数（年齢別） ・小学校区別未就学児数グラフ（3 歳～5 歳） ・小郡市子ども子育て支援に関するニーズ調査（一部抜粋） ・各年度における量の見込みと確保方策 ・小郡市内幼児施設位置図 ・小郡市（公立・私立）幼稚園一覧 ・市内幼稚園園児数の推移（3 歳～5 歳） ・小郡市（公立・私立）保育所（園）一覧 ・市内保育所入所児数の推移（0 歳～5 歳） <p>○小郡市子ども・子育て支援事業計画</p> <p>○資料 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小郡市幼児施設審議会条例 ・小郡市附属機関等傍聴要領 ・小郡市幼児施設審議会委員名簿 ・私立幼稚園就園奨励費補助金年間補助限度額 ・小郡市在住者の幼稚園利用状況 ・市内保育所における待機児童の推移 ・スケジュール（案） <p>○幼稚園要覧（小郡幼稚園・三国幼稚園）</p> <p>○市内保育所案内</p>
会議内容	
1	委嘱状交付
2	市長あいさつ
3	委員紹介

<p>4 会長・副会長選出 ○会長：永水委員 ○副会長：大隅委員</p>
<p>5 諮問 ○市長から会長へ諮問を渡す。</p>
<p>6 審議</p> <p>（１）未就学児の現状について 事務局からの資料説明後、意見を求める。 委員：今後の人数の推移の根拠は？ 事務局：社会的増減は加味せず、年齢を移動したもの</p> <p>（２）幼児施設の現状について 事務局からの資料説明後、意見を求める。 委員：ニーズ調査の結果で公立幼稚園の今後の利用希望者が2.5倍いるが？ 事務局：複数回答のため。自由意見に「3年保育なら利用」「預かり保育があるなら利用」との記載もあった。 委員：以前は保育所の待機児童はいないと聞いていたが？ 事務局：「国基準の待機児童」は例年4月にはいないが、一昨年の10月頃から出始め、今年度は4月から出ている。今回の一覧は「特定の保育園待ちの児童数」も含めている。 委員：自由意見に記載されている「3歳入園」等も審議できるのか？ 事務局：公立幼稚園についての審議なので意見があれば出して欲しい。</p> <p>（３）質疑応答及び意見交換 事務局からの資料説明後、意見を求める。 委員：今日は就学前の現状の説明を受けたが、公立幼稚園の課題を絞ってもらい、事務局の公立幼稚園に対する考えを出して欲しい。 事務局：現況等を説明していくので、審議会のなかで大きな方向性を考えていただきたい。 会長：公立幼稚園長の委員の言う「保護者の評価は高い」ということも含め、公立幼稚園のあり方について審議していきたい。保育所の入所希望は多いが公立幼稚園は少ないという現実を見ながら話し合っていく。 委員：前回（H10年）の宝城幼稚園の審議会の視点である財政面の資料が出ていない。公立は税金で賄っていることも考えなくてはならない。 事務局：次回の資料として、公立幼稚園の財政面と、今後の市内の開発による人口の見直しをお示ししたい。 委員：認定こども園になるかならないかのメリット・デメリットは何か？ 委員：支援事業計画ではH31年度に認定こども園があるが公立幼稚園の移行か？ 事務局：検討中の私立幼稚園を記載している。 委員：公立幼稚園の審議会なので、認定こども園の道もあるのか？ 会長：それも含め次回に話し合う。 委員：公立の保護者は3歳からの入園を希望している。未就園児のクラブの2歳児クラスの新設要望がある。</p>

委員：2年保育と3年保育とを幼稚園が選んでいるのか。

委員：私立幼稚園は3歳児からの3年保育を行っている。満3歳になる2歳児クラスや預かり保育もある。

会長：方向性は決まっていないので、事務局は資料をお願いします。第1回から熱心に話し合いいただきました。

(4) その他(今後の予定について)

事務局からの資料説明。(第2回は10月19日、在園児保護者の意見を聞く)

委員：保護者は利害関係者になるので、審議会の内容を深めないと聞けないのでは。

事務局：委員の中に入れてないので、当事者の話を聞く場を設ける。

委員：審議会が4回で終わるのは急ぎ過ぎではないか。

事務局：案としては4回、審議が足りないなら回数は増えることもある。

委員：初めに当事者の意見を聞きたい。

委員：幼稚園保護者の意見を早めに聞きたい。

委員：資料もそろっていない段階では早いのではないか。

会長：早めに聞くことは必要だと思う。

委員：公立幼稚園の現状の把握として保護者の意見を早めに聞きたい。

会長：意見はいろいろ出たが、事務局案のとおり次回に在園児保護者の参加を依頼することでいいか。

—異論無し—